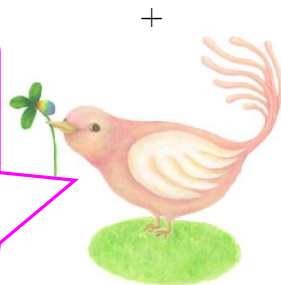


ボランティアさん大募集～!!

こどもと遊ぶのが好きな方、事務局のお手伝いを一緒にして下さる方、お待ちしております。

よろしくお願ひ致します。

アドレス: power-of-children@ezweb.ne.jp



<後援会員&寄付募集中です!>

まだまだ活動が始まったばかりの小さな団体です。活動は、みなさまの会費と寄付金で行っています。ご理解とご協力をお願いいたします。

後援会員費 … ご入会頂くと「こどものちから通信」をお届けします。

◎個人3,000円/年 ◎団体(1口)10,000円/年

ご寄付 … みなさまのあたたかいお気持ちは、きょうだいさんの笑顔を増やす活動に大切に活用させていただきます。

郵便振替番号：00170-7-571697

口座名：特定非営利活動法人こどものちから

お問い合わせは、住所：〒136-0073 東京都江東区北砂5-20-18-211

Tel：080-6867-6135

アドレス：power-of-children@ezweb.ne.jp

Facebook：<https://www.facebook.com/kodomonotikara>

「特定非営利活動法人こどものちから」事務局までお願ひ致します。

<協力団体>※カフェ・アリエッタ

<発行>「NPO法人こどものちから」事務局

〒136-0073 東京都江東区北砂5-20-18-211

TEL：080-6867-6135 アドレス：power-of-children@ezweb.ne.jp

口座名称：NPO法人こどものちから

振替口座(郵便局)：00170-7-571697

この通信は公益財団法人正力厚生会助成金にて作成されています。

ありがとうございます。

「ももちゃん」
で～す!!



こどものちから



<事務局・斉藤晴美 作>

メリークリスマス & ハッピーニューイヤー！！

NO.8 2014.12月発行

東京都中央区築地にある

病院の小児待合室で活動しています。



私たちは、病院に連れてこられた病棟に入れないうきょうだいさんと遊んだり、おしゃべりをしたりして、一緒に楽しく過ごす活動をしています。

小児待合室での活動のきっかけは、「きょうだいと遊んで待っている場所には遊び相手がいらない。おもちゃや絵本があっても、連れてこられたきょうだいは、ひとりで親が迎えに来るのを待っている。そんなきょうだいに遊んでもらったら？」兄が闘病することで深く傷ついていた長女からの提案でした。

昨年NPO法人となり活動をご理解いただき、後援会員が50名近くになり、待合室活動やイベント活動を支えてくれる登録ボランティアさんは15名になりました。おかげさまで以前は月に2回、土曜日か日曜日に行っていた待合室活動が、毎週月曜と木曜日、毎月第二土曜日と第四日曜日に実施できるようになりました。現在は、複数のボランティアさんと一緒に相談しながら安心・安全に配慮し、安定した活動ができています。この活動が少しずつ広がりを見せ、待合室で遊ぶのを楽しみにしてくれるきょうだいさんや患児さんが増えてきました。医療者からは「親御さんに説明をする時間にお子さんを見てほしい。」と依頼されることもでてきました。もっとボランティアさんが増えて、活動日や時間を増やすことができれば、後援会員が増えておもちゃや絵本を増やすことができれば、待合室にきてくれる子ども達に接しながら思います。

今後も小児待合室は、“子供を置いていく場所”ではなく、“自分の気持ちを表せる場所”であったり、“ありのままの自分を認められる場所”、また“人のまなざしがある場所”にしたいと考えています。きょうだいさんと親御さんが安心して一緒に遊んで過ごせる交流の場であるお花見や焼きいも、バーベキューなどのイベントも回を重ねるごとに参加者が増えてきました。ありがたいことです。これからも同じような経験をしている家族同士が交流できる場を作り、きょうだいさんが安心して楽しく過ごせる居場所を増やす活動を広げていきたいと考えています。みなさまの応援よろしく願いいたします。

代表 井上るみ子

※国立がんセンター12階、小児待合室での活動

小児待合室できょうだいさんと遊んでいます。

一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

毎週月曜日と木曜日、毎月第2土曜日と第4日曜日

午前11時～午後2時(変更あり。)

< 活動報告 >

- ◎小児待合室で、きょうだい・患児・家族と遊びました。
- ◎6月23日(月)Facebook ページ開始。活動報告掲載します。
Facebookアドレス：<https://www.facebook.com/kodomonotikara>
「いいね」をよろしくお願いいたします(´_`)
- ◎7月12日(土)中央区社会教育会館にて交流会実施。
- ◎8月2日(土)大阪市立総合医療センターにて遊び方研究会主催「あそびかたフェスタ」参加。
- ◎8月9日(土)NPO 法人キャンサーネットジャパン主催「キャンサーフォーラム2014」参加。
- ◎8月28日(木)待合室にて、「なんちゃって夏祭り」を行いました。
- ◎9月20日(土)がんのこどもを守る会会議室にて「研修報告会&意見交換会」実施。
- ◎10月5日(日)中央区築地社会教育会館にて「焼きいも&BBQ」実施。
- ◎10月18日(土)東京おもちゃ美術館にて「おもちゃ祭り」見学。木の卵ゲット。
- ◎11月2日(日)がんのこどもを守る会会議室にて「第1回クリスマス工場」を開催。
- ◎11月7日(金)神奈川県茅ヶ崎社会保険事務所にて「小児慢性特定疾患講演会」講演。
- ◎11月13日(木)難病のこども支援全国ネットワーク主催「プレリナー追加研修」参加。
- ◎11月15日(土)がんのこどもを守る会会議室にて「第2回クリスマス工場」を開催。
- ◎11月15日(土)・16日(日)アステラス製薬(株)主催、「ピアサポート研修」に参加。
- ◎11月22日(土)・23日(日)四ッ谷コラパレホール、キャンサー・ファシリテータ養成講座Ⅱに参加。
- ◎11月30日(日)東京ボランティアセンターにて小児脳幹部グリオマの会主催、「子どもたちのグリ
-フケ」講演会参加。
- ◎12月6日(土)NPO 法人グッド・トイ委員会主催「おもちゃ実践せけ」参加。
- ◎12月7日(日)がんセンター小児腫瘍科親の会 COSMOS 会主催「クリスマス会」参加。
- ◎12月13日(土)「地域における緩和ケアと療養支援情報プロジェクト」主催「がん医療フォーラム
2014」参加。
- ◎12月19日(金)こどものちから通信8号発行。

< 今後の予定 >

- ◎小児待合室で、きょうだいさん(子供)・患児や家族と遊びます。
毎週月曜日と木曜日、毎月第2土曜日と第4日曜日
午前11時～午後2時(変更になる場合があります。)
※2014年の活動・・・12月25日(木)まで。2015年の活動・・・1月8日(木)から。
①2015年春の交流会・・・3月29日(日)もしくは4月5日(日)
②藤田浩子さんのお話し会・・・6月21日(日)午後14:00～16:00
※①②の詳細は、決定次第連絡いたします。

<絵本紹介> ～大切なあなたへ～

静岡県立こども病院医学図書室 塚田薫代

『きみのかわりはどこにもいない』いのちのこば社 2000

ある夕暮れ時、100匹の羊を家に連れ帰って数を数え羊飼いは、大変な事に気がつきます。「ワンダーがいな
いぞ！」さあ大変！たった1匹の子羊を探しに、羊飼いは夜の野原を駆け回ります。いばらにひっかかった子羊を見つけて「どんなにぼくがうれしかったか」

「どの子もみんなあいしているから、どの子もみんなたいせつだから」と踊ります。自分が迷子の子羊になり、見つけてもらった安心感でいっぱいになります。最後のページには新約聖書マタイの福音書の一節が載って

て「なるほど、そうだったんだ」と腑に落ちます。

七五調の言い回しも読み聞かせにぴったりだし、何より来年はひつじ年ですね

※この本は、小児待合室にもあります。



<小児待合室で人気のおもちゃ紹介>

今年9月に「こどものちから」の活動をご理解下さりご寄付いただいた、ベック社のくねくねバーン・トレンカースロープ。ドイツの定番の木製玩具です。

木の車がするすると滑り落ち、端まで行って、クリ～とひっくり返って、またスルスルと滑り落ちていきます。子ども達は、滑り落ちる木の車にくぎづけ。捕まえようとしたり、矢継ぎ早に木の車を滑らせたり…。

年齢もほとんど関係なく、本当に夢中になって繰り返し、繰り返し楽しく遊びます。

待合室には、2種類のおもちゃが必要だと思っています。1つは、手作り感満載の身近な材料を使ったおもちゃ。たとえば待合室で人気の牛乳パックを使ったヘビや箱に詰められたたくさんのカエル(びっくり箱)。生活の中で馴染みの牛乳パックは、資源ゴミです。一手間加えるだけで見事に立派なおもちゃに変身します。「何気ない生活の中に隠れた宝物があるよ。」と言うメッセージです。2つ目は、少し高額だけれどプロのおもちゃ作家さんが考え抜いて作ったおもちゃ。色や形、想像力、耐久性、安全性等々、目を見張るものがあります。これは、一人で待合室で親御さんを待っていても寂しい気持ちを支えてくれるおもちゃです。時に応じて対応できるように、増やしていきたいと思います。

井上るみ子





「こどものちから」 お楽しみイベント 第7弾 「焼きいも&BBQ」会

実施日時：2014年10月5日(日) 11時～14時

実施場所：中央区築地社会教育会館 調理室

患児10名、きょうだいさん7名を含め、総勢54名が参加しました。潮風公園バーベキュー広場を予定していましたが、台風18号接近のため急遽病院のとなりにある中央区築地社会教育会館に開催場所を変更しての交流会となりました。みんなでおいしいおいもやお肉・きりたんぼ鍋・スイートポテトをほおぼりながら、「ごぼぶくろけつ」で的当て、手作りパチンコ、ばるーんすらいむ、リボンストラップ作りや練り石けん作り等々、大人も子供もワイワイ・ガヤガヤ…楽しい時間を過ごしました。天候不順な中、たくさんのお友達が参加してくれてとっても嬉しかったです。ありがとうございます。それでもやっぱり来年は、青空の下で開催できるようにと祈ります。



※参加して下さった方からの声

- ・久しぶりに友達に会えてお互い元気であることがわかって良かった。
- ・遊びの種類がたくさんあって楽しかった。また参加したい。
- ・こどもが楽しんでいる姿を見て、親は幸せな気持ちになった。
- ・初対面の人と手作業をすることで自然に会話ができた。他多数ありました。

<きょうだいに必要なこと> ～こども療養支援士からの提案～

こどもが病気で入院するとき、そのきょうだいもまた、大きな変化の中で様々な思いを抱えています。入院によりいつもいっしょに遊んでいたきょうだいや大好きな母親と離れて暮らすさみしさは大きいでしょう。お家から遠く離れた「東京の病院」にお兄ちゃんが入院しているAちゃんにとってもそれは同じでした。久しぶりにママに会うときはママのそばから片時も離れることができず、再びママが「東京の病院」に戻るときは泣いて嫌がり、ママにとってもAちゃんにとってもつらい時間となっていました。そこでママと相談して、お家でがんばっているAちゃんに、お兄ちゃんの入院している「東京の病院」を紹介するピクチャーブックを作ることになりました。パパやママ、お兄ちゃんからのメッセージを添えて。その後、Aちゃんに変化がありました。ママと笑顔で「またね」ができるようになったのです。それだけでなく「わたしね東京の病院だいすきなんだ～。だってお兄ちゃんの病気を治してくれるところでしょ」とママにお話ししてくれたそうです。

きょうだい支援を考えるとときに大切なのは、入院の早い時期からきょうだいを巻き込み、きょうだい自分も家族の一員として大切な存在であると実感できるようにすることだと言われています。病院の様子を知ることができたこと、家族から大切に思われていると実感できるメッセージを受け取ることができたことがAちゃんの安心につながり、Aちゃん自身の困難を乗り越える力・前に進む力が発揮されたのではないかと感じる出来事でした。

本田真己子



「きょうだいさんのための本 たいせつなあなたへ」

大阪で10年以上もきょうだい支援をしているグループ「しぶたね」さんが、病気の子どものきょうだいさんが、寂しいとき、ひとりきりだと思ふとき、親御さんやたくさんの人から注がれている愛情を確認できるものとして作っていただきました。愛情を伝えるきっかけとなる一冊です。思い、しぶたねさんから預かり、待合室や小児科外来にて配布しています。

詳しくは、ブログ「しぶたね」で検索してみてください。



<兄弟姉妹 2 > ～教師の立場からの提案～

子供が病気になったときに何ともいえない立場になる兄弟姉妹について。共に成長する仲間である兄弟姉妹の一人が病にかかるということをどうとらえているのか、まだ若くまたは幼い彼らがすぐに理解することは難しいです。発熱や腹痛で、短期間兄弟姉妹が闘病するのを見た経験はあるにしても、長期の入院加療を要するような事態は、あまりに唐突です。ある程度以上年齢を重ねていればまた知識がある分受け止め方は変わりますが、ここでは比較的幼い兄弟姉妹を考えています。彼らの立場から事態を考えてみると、相手も、また両親も変わってしまいます。家庭の中の空気に緊張感が走ります。彼らの多くは、自分が何か悪いことをしてしまったのではないかと考えていることでしょう。両親は明らかに病んだ子に対して必死です。自分の要求を今までと同じように出すのがはばかれる状況です。それでもこれまで同様に振る舞う子は叱られてしまうことでしょう。空気を読んで慎重になる子は暗くなったと思われるかもしれません。（この項続く）



高水英壽

<～食といのちについて～> ～看護師の立場からの提案～

私達は、口から食べるものすべてで、今の体が作られています。食事は本来、神聖なもの。動、植物など様々な命を戴いて今に繋がっているのです。例えばおにぎり。以前、浅草でお坊さんが作るおにぎりを、路上生活者の方々に配る炊き出しに参加していました。大切な寄付で集まったお米を炊き、配る人々を思いながら握り、渡す前に仏前でお祈りを捧げるのです。受け取った皆さんのホッとした表情、心から癒され、和み、生きる意欲が湧いてくるようです。空腹だけでなく、心の空虚さをも満たし、癒され、豊かな気持ちが生まれてくるようでした。忙しい日常、今やどこでもあらゆる食べ物が手に入る時代。いつからか、夕餉の時間という滋味深いおいしい匂いが、消えつつあるかもしれません。目の前にいる方の為に作る、その想いは食べ物を通し、生きる力を与え続けます。お米を炊く、芋を蒸す、簡単な行程で充分。あなたの手で、どうか周りの方への命を。



奥山文香